

東北各地で今年も渇水 ～ 渇水対策本部を設置 ～

東北地方整備局管内では、梅雨時から降雨が少なく、これにより河川の流量及びダムの貯水量が低下しています。

このため、水不足による市民生活への影響が極力発生しないようにするため、河川の流況や水質状況の監視を強め、利水者等との情報交換を更に緊密に行い、東北全般における渇水対策を円滑に実施するため、昨年に引き続き、本日（8月10日17時00分）本局に渇水対策本部（注意体制）を設置しました。

<今後の見通し等>

8月3日に発表された東北地方1ヶ月予報では、東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多いことが予想されることから、引き続き少雨が続いた場合、水不足による水道取水障害、稲作における穂ばらみ期から出穂開花期にかけての農業用水不足による生育不良等が懸念されます。

<管内各河川・ダムの状況>

東北管内7水系（岩木川、雄物川、子吉川、吉田川、北上川、最上川、雄物川）で、流量の低下が見られ、また、各ダムの貯えられた水量も大幅に減ってきています。

北上川水系江合川においては、8月に入り河川の流況が低下していたところですが、8月8日より上流に位置する鳴子ダム（国）と岩洞沢ダム（県）の連携を強化し、相互のダム貯水量状況を考慮した補給量の調整を図り、下流域約10,000haの農地への補給を実施してきています。これにより、特に水が必要となる水稻の穂ばらみ期の用水も確保できる見通しです。

岩木川においては、このままの流況悪化が続くと取水障害が懸念されることから、目屋ダム（県）と相馬ダム（県）による緊急放流を実施し、下流域約12,000haの農地被害を最小限に抑えます。

雄物川においては、その支川の玉川に位置する玉川ダムにより、引き続き河川の生態系への影響等を少なくするための放流を継続します。

ほか、河川・ダムの状況については、別添資料を参考に願います。

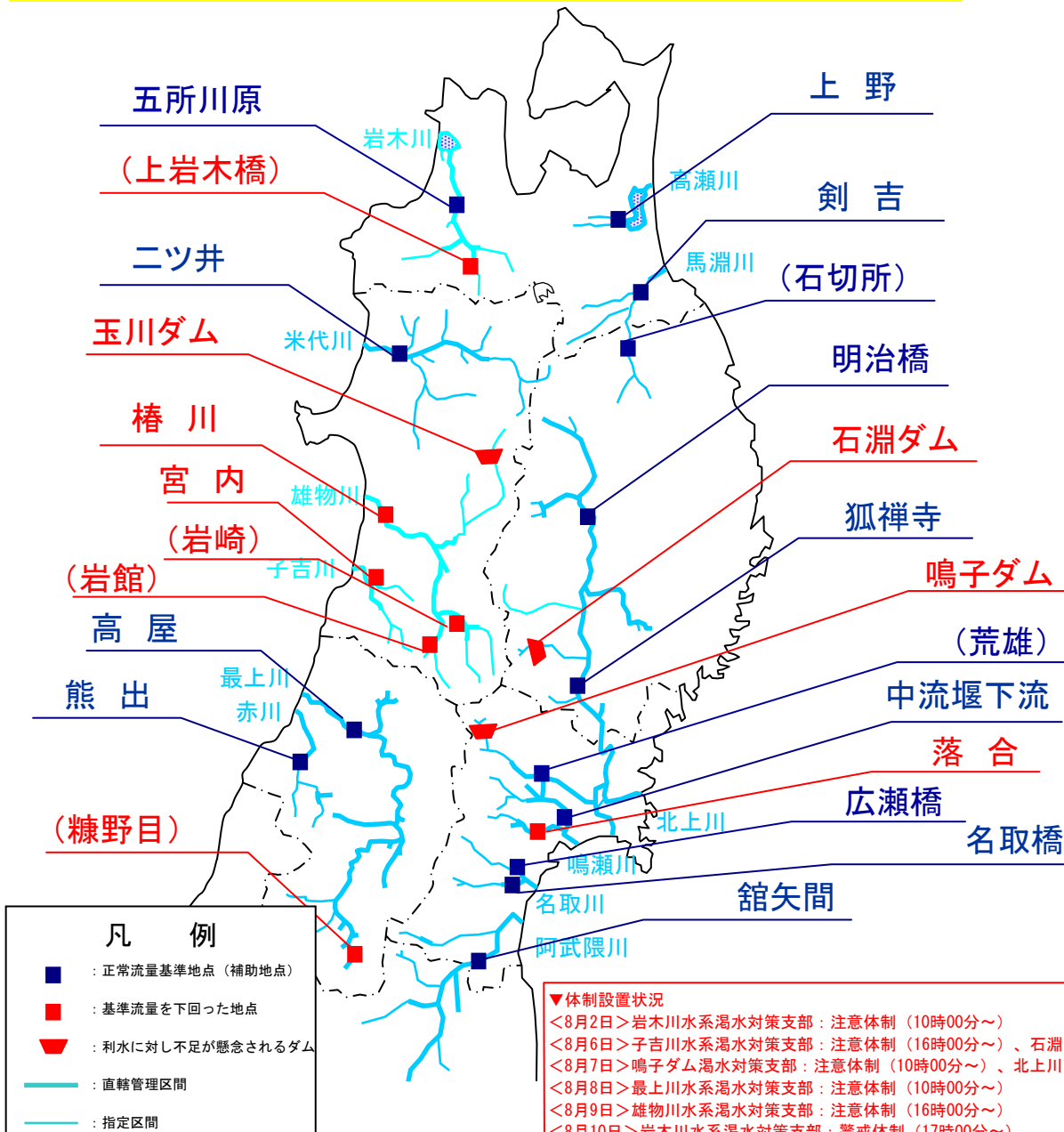
<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 （本部）	仙台市青葉区二日町9番15号	TEL(022)225-2171(代表)
河川部	河川環境課長	鈴木 勇治（内線 3651）
建設専門官		齋藤 茂則（内線 3657）

東北地方整備局管内河川流況

【平成24年8月10日 9時現在】



▼体制設置状況
 <8月2日>岩木川水系洪水対策支部：注意体制（10時00分～）
 <8月6日>子吉川水系洪水対策支部：注意体制（16時00分～）、石淵ダム洪水対策支部：注意体制（17時00分～）
 <8月7日>鳴子ダム洪水対策支部：注意体制（10時00分～）、北上川下流洪水対策支部：注意体制（10時00分～）
 <8月8日>最上川水系洪水対策支部：注意体制（10時00分～）
 <8月9日>雄物川水系洪水対策支部：注意体制（16時00分～）
 <8月10日>岩木川水系洪水対策支部：警戒体制（17時00分～）

▼雨量状況

※県庁所在地雨量データは、気象庁HPより。

県庁所在地	5ヶ年平均雨量 <H18~H22>			当年雨量 <H24>		
	6月 (mm)	7月 (mm)	8月 (mm)	6月 (mm) (平均比)	7月 (mm) (平均比)	8月 (mm) (平均比)
青森市	78.6	140.7	115.3	21.0 27%	243.0 173%	6.0 5%
盛岡市	101.7	190.1	169.6	42.5 42%	135.0 71%	1.5 1%
仙台市	137.9	193.1	171.3	207.0 150%	164.0 85%	14.0 8%
秋田市	105.3	197.0	136.7	34.5 33%	207.5 105%	9.5 7%
山形市	119.6	198.0	153.8	55.0 46%	84.0 42%	8.0 5%
福島市	128.8	196.9	160.8	138.5 108%	147.5 75%	0.5 0%

※当年雨量8月は、8月9日までの雨量評価。

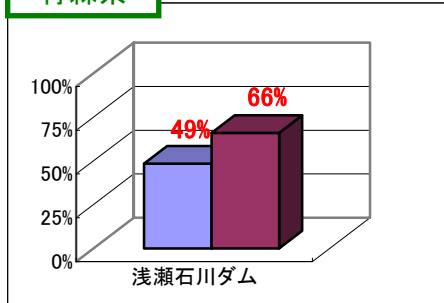
▼河川流況

水系名	洪水対策		当年流量 <H24>	
	基準地点 (補助地点)	基準流量 (洪水の目安となる流量) m ³ /s	8月10日 9時流量 (m ³ /s)	流量比
岩木川	(上岩木橋)	2.296	1.60	70%
	五所川原	19	21.06	111%
高瀬川	上野	2	11.34	567%
	馬淵川	(石切所)	16.71	17.62
北上川	剣吉	16	20.50	128%
	明治橋	20	29.08	145%
江合川	狐禅寺	70	94.39	135%
	(荒雄)	2.51	3.33	133%
鳴瀬川	中流堰下流	2	8.85	443%
吉田川	落合	1.5	1.20	80%
名取川	名取橋	1.5	2.66	177%
広瀬川	広瀬橋	1	1.89	189%
阿武隈川	館矢間	40	46.70	117%
米代川	二ツ井	45	59.81	133%
雄物川	(岩館)	3.8	1.31	34%
	樺川	80	73.36	92%
皆瀬川	(岩崎橋)	2.8	0.90	32%
子吉川	宮内	11	7.10	65%
	(糠野目)	3	2.62	87%
最上川	高屋	60	68.42	114%
	熊出	2	4.21	211%

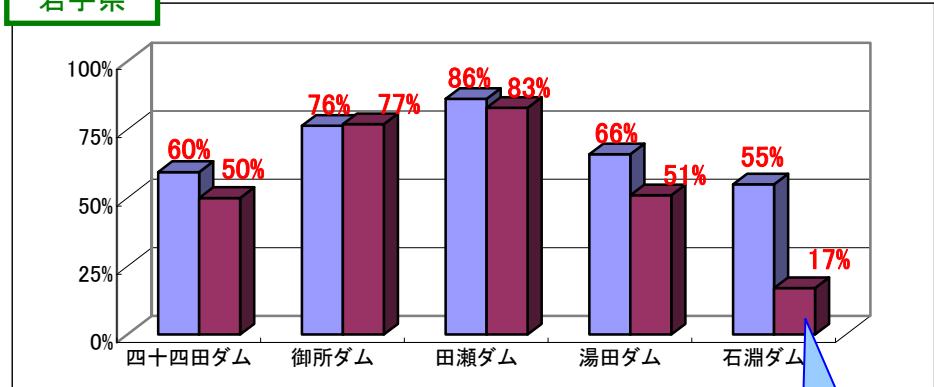
着色凡例： (基準流量以下)

直轄管理ダム 貯水率(利水容量)状況一覧 (平成24年8月10日現在)

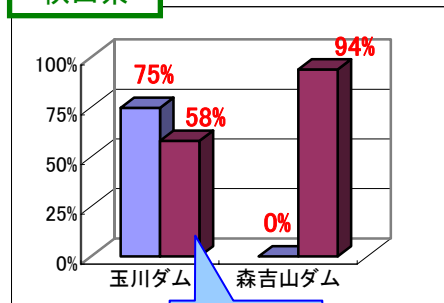
青森県



岩手県

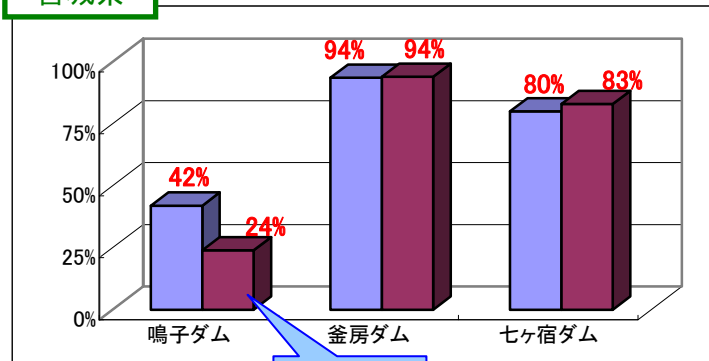


秋田県



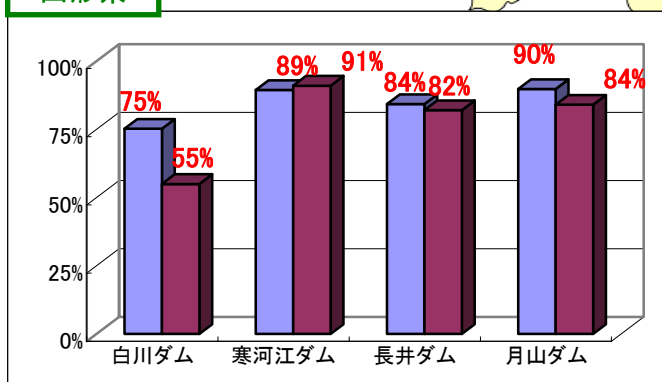
約6割

宮城県

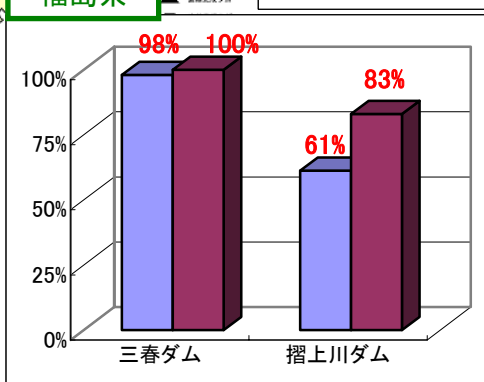


約2割

山形県



福島県



■ : 過去5ヶ年(H19~H23) 8月10日の平均
■ : 平成24年8月10日 9:00時点

※長井ダムはH23から管理開始のため、過去5ヶ年平均はH23データ
 ※森吉山ダムはH23から管理開始のため、過去5ヶ年平均は未算出

主な河川・ダム状況

＜水系名＞	＜河川・ダム＞	＜渇水状況＞
岩木川水系	岩木川 【写真①、②】	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用水が不足してきており、各地域で順番に取水を行う「番水制」を実施。 ・少雨が続く場合、上流にある目屋ダム(県)では8月12日に最低水位を割り込み、農業用水不足による作物の生育不良等が懸念される。 ・8月9日、関係機関による渇水調整連絡協議会を実施。目屋ダム(県)と、近接する相馬ダム(県)からの緊急放流実施に向けた調整が行われ、農地被害の軽減を図る。
雄物川水系	雄物川 皆瀬川 【写真③】	<ul style="list-style-type: none"> ・湯沢市内など農業用水が不足してきており「番水制」を一部地域で実施してきている。河川は用水取水堰付近の一部河川で流況が悪化してきている。流況がさらに悪化した場合、用水不足の地域の拡大等が懸念される。 ・玉川ダム(国)では雄物川下流域の河川の正常な機能維持のため補給を継続しているが、少雨が続いた場合は、9月初めに最低水位を割り込むと予想される。
子吉川水系	子吉川	<ul style="list-style-type: none"> ・河口付近の農業揚水機場などにおいて、塩水が河川を遡上する影響により、取水を一時停止している。 ・農業用水は一度使用した水を再利用する反復利用等、上水道は調整地(1ヶ月分ほど確保)の水を使用し対応中である。
北上川水系	江合川	<ul style="list-style-type: none"> ・著しい取水障害の報告無し。河川流量の減少による魚類等への影響が懸念される。 ・上流の鳴子ダム(国)の貯水量が減ってきていたが、8月8日より岩洞沢ダム(県)と放流量を融通することにより対応中である。

北上川水系	石淵ダム 【写真④】	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム湖の水位が、8月11日には下流への放流が困難な状況となる水位まで低下する見込み。一旦、ダムからの農業用水の補給を停止(8/10～8/13)し、放流可能な水位への回復を図った後、放流を再開し、長期間の補給停止を避けることとしている。 ・少雨が続く場合は、取水停止期間が長期となり、作物の生育不良が懸念される。
北上川水系	鳴子ダム	<ul style="list-style-type: none"> ・岩洞沢ダム(県)との連携により放流を継続中。少雨が続く場合、8月17日頃に最低水位を割り込むと予想される。 ・ダム湖が最低水位に至った場合は、農業用水は著しく不足し、作物の生育不良が懸念される。

